

Voov Meeting の利用とセキュリティーに関する説明

東アジア交渉学会 2020 年大会は、周知の理由により、オンライン・オフラインの形で開催することになりました。また中国国内の事情により、Voov Meeting を使用せざるを得ません。Voov Meeting は、Zoom に相当するオンライン会議の APP で、使用感もほぼ同じですが、情報セキュリティーに関しては、心配される方がいるのも事実です。以下、事務局で把握した情報に基づき、幾つかの点について説明します。

Voov Meeting は、Tencent Meeting の海外版で、日本では現地法人によって、運営されており、ユーザ情報も日本に保存されることになっています。

2020 年度学会大会では、8 日午前 8 時から 10 時までは、ウェブによる同時中継で、動画サイトのコンテンツを見る要領で、開幕式、基調講演を視聴できます。

分科会は、Voov Meeting の会議室で行うので、まず Voov Meeting をインストールする必要があります。パソコンと携帯の両方にインストール可能だが、携帯電話へのインストールをお勧めしません。悪意のあるソフトでなければこの段階では危険性はありません。インストール完了後、Voov Meeting をアクティブ化（活性化）しなければなりません。活性化は、携帯番号を入力し、送り返された確認のコードを入れておけば完了です。この時の携帯番号は、あくまでも本人確認のためで、携帯番号を使って携帯の情報を盗み取ることは考えられません。大会の後、速やかに Voov Meeting をアンインストールすれば安心でしょう。大会への参加は、次のような 3 つの方法から選択できます。

- 1、サインアップして利用する。その場合、携帯番号とメールアドレスが必要です。WeChat のアカウントがある場合、WeChat のアカウントでサインアップできます。（つまり新しく登録し、アカウントを取得しなくてもよいということですが、これはまた情報漏れなら、Voov Meeting の利用を待たずに WeChat からとっくに漏れたということです(>_<))
- 2、サインアップせずに利用する。直近になって大会準備委員会から会議室のリンク・リストが送られます。希望の会議室のリンクをクリックすれば入室できます。発表、質疑応答もできます。
- 3、動画サイトにて参加。大会から送られてきた会議室のリンク・リストをクリックすれば、ご覧になりたい会議室の発表を見ることが可能です。但しこの場合、質疑応答には参加できません。発表予定者は、この方法を使えません。

以上の説明で皆さまの不安を少しでも取り除くことができれば幸いです。ご不明な点があれば、お問い合わせください。

(文責：沈国威)